

目次

- 02 【特集】
ようこそ、中原へ
「学ぶ」「知る」「遊ぶ」「働く」
- 09 【ひとまち名鑑】
サイクルショップ ナカハラ
- 10 【中原街道を行く】
「中原」の由来
- 11 【3時のおやつ】
BearBear



変貌し続ける中原。

新しく住みはじめたひと、先祖代々住まわれるひと、
新しいショッピングセンターも出来れば、歴史ある商店街もあり、
様々なひと、まちの交流が生まれています。

そんな地域の魅力をお伝えしたくて、
少しでも暮らしを楽しく・豊かに過ごすお手伝いがしたくて、
この地に「住んで良かった」と思ってもらいたくて、
『ひと、まち NAKAHARA』はこの地に根ざして100年の
総合・建築不動産会社ジェクトがはじめました。

これからの100年も皆様とともに。

No.19 2021 Spring

「ひと、まち NAKAHARA」はジェクト(株)発行の地域情報誌です。

Take Free

ひとまち
NAKAHARA



ひと、まち NAKAHARA (無料)
2021年3月発行

※NAKAHARA(なかはら)は、中原区とその周辺地域を含みます。

発行:ジェクト株式会社 <https://www.jecto.co.jp>
〒211-0053 川崎市中原区上小田中6丁目20番2号
編集:「ひと、まち NAKAHARA」編集室
お問い合わせ TEL:044-755-2525(代表)



オープンスタジオにて。
「かわさきUPSTREAM」
の放送中



かわさきFM
79.1
MHz



中原を「知る」
生活、文化、スポーツ面まで、ワクワクする川崎の魅力や24時間発信する、かわさきFM。車の運転中や作業中にも気軽に聴けるのは、働き盛りにも嬉しい情報媒体です。また災害発生時には、川崎市と協力し、地域に特化した避難情報等を迅速に発信。市民の安心・安全・快適な暮らしに一翼を担っています。



リアルタイムで
街の情報を聴こう
かわさきFM

ラジオの放送スタジオは、 武蔵小杉駅から徒歩圏内。

ローカルなコミュニティFMラジオ局ならではの、コアな地域情報が満載。武蔵小杉のスタジオからの生放送では、毎年1000人以上の地域の方を中心とした大勢のゲストが出演。行ったことのある店、地元で活動する友人が番組に出ることも?!

【オープンスタジオ】
中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイス



かわさきFMのオープンスタジオ。
平日朝8時から夜7時過ぎまでは、生放送が見られます。

公式Twitterで
事前に番組の
詳しい情報を
発信してるよ!
是非チェックしてね!



周波数は79.1MHz!
インターネットでも聴取可能。

パソコンやスマートフォンがあれば、
いつでもどこでもすぐに聴くことができます。



マスコットキャラクター
ラジオラちゃん

特集 ホームタウンを満喫しよう! ようこそ、中原へ



暖かい陽気に心躍る春。

新生活をスタートする人も多いのでは?

新しい暮らしを始めるにあたってのベースになるのが、住まいのある場所。

中原区に新しく来た人に知ってほしい、そして、

以前から住んでいてもまだまだ知らない、

「地元でできること」をテーマに特集を組んでみました。

中原区 基本情報

川崎市のほぼ中央に位置する。東京都心部や横浜へのアクセスの良さから、人口・世帯数は7区の中で最多。
●人口(令和2年現在): 263,760人、134,636世帯 ●区の花: パンジー ●区の木: 桃



本にはICタグがついており、自動貸出機でスムーズに借りることができます。5階・6階には読書や調査研究等の目的で利用できる閲覧席があり、6階では電子機器の利用もできます。また、東急スクエアの1階の返却ポストには図書館閉館時に本をお返しいただけます。さらに武蔵中原駅の返却ボックスも利用できます。最新の設備を持ち、豊富な蔵書を誇る中原図書館。ぜひ利用してみてください。

2013年にリニューアルオープン後、絶大な人気を誇る中原図書館。武蔵小杉駅直結の「ショッピングセンター」東急スクエア」内5・6階にあり、仕事帰りや買い物のついでに雨に濡れずに利用できます。

川崎市最大の
蔵書数

中原図書館



所在地: 〒211-0063 中原区小杉町3-1301
アクセス: JR南武線・東急東横線「武蔵小杉駅」下車徒歩1分 東急スクエア5・6階
開館時間: 平日 午前9時30分~午後9時 土・日曜日・祝日 午前9時30分~午後5時
休館日: 年末年始、施設点検日(毎月第3月曜日、祝日に当たる日はその翌日)
※開館時間に変更になる場合があります。最新の情報は川崎市立図書館HPをご確認ください。
<https://www.library.city.kawasaki.jp/>





集中して仕事をしやすい、フリーアドレスのワークスペース(会員のみ利用可)。個室の会議室(要予約)やフォンブースも併設。



向かいの建物にあるバサールベース(スポット利用可)。話し合いや、オープンな空間で作業をしたいときに最適。

人にとって「一人の時間」と「人とつながる時間」どちらも大切です。新城WORKスタッフは、その両方の時間を作るお手伝いをしたいと考えています。家にずっと居て気分転換したい方、また、仕事や暮らしに何か変化が欲しい方、是非気軽に



コミュニティマネージャー
中村さん

お越しくださいね。

中原でも「働く」
近年、各地でコワーキングスペースが見られるようになりました。2020年、中原区に誕生した「新城WORK」のコンセプトは「はたらくと暮らすを豊かに」。仕事や副業だけでなく、読書などのライフワークまで日常の幅広い活動に活用できることを目指して作られた空間です。



仕事と生活の
上手な調和へ

新城WORK

コーヒーブレイク出来るスペースでは、利用者同士やスタッフとの交流が生まれていて、地元と同僚がいるような感覚があるという声も。リモートワークが進む中、自宅以外でメリハリのある時間と、ゆるやかなコミュニケーションを持てるのが魅力です。暮らしに近い環境で、新たな交流やビジネスが生まれるかも？



新城WORK:
中原区上新城2-6-11石井ビル2階
新城WORK(バサールベース):
中原区上新城2-7-1

利用料金・予約・申込み方法の詳細はHPへ
<http://work.seses-ishii.jp/>



中原特集、いかがでしたか？

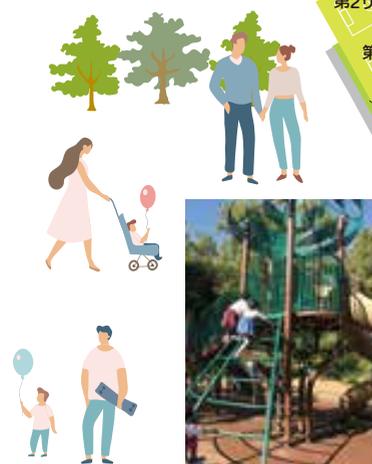
ご紹介したのは、街のほんの一部。暮らしていく中で、様々な出会いや発見を楽しんでみてくださいね♪

エリアごとに情報が発信されるコミュニティグループfacebook「ふらっと〇〇」も要チェック！

「ふらっと武蔵中原」「ふらっと高津区」など、「ふらっと+地域」で検索すると、旬な地域情報が発信されています(要グループ申請)。



新しい等々力球場は、両翼は100メートル、センターは122メートルの広さを誇り、県内最大級(横浜スタジアムより大きい!)。登録したチームでの市民の使用のほか、高校野球や社会人野球の大会などに利用されます。緑地内には野球場のほか、川崎フロンターレのホームスタジアムである陸上競技場やテニスコート、子供の遊び場、釣池、ふるさとの森などもあり、一日中のんびり遊べるスポットです。



ふるさとの森にある遊具

中原で「遊ぶ」
2020年10月等々力緑地内に野球場がオープン！老朽化などで2016年から改築工事が行われていました。フィールドを見ながら歩ける園路があり、公園内の野球場として親しまれています。

多彩な楽しみがある
憩いの空間

等々力緑地



所在地:〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力1-1
アクセス: JR南武線・東急東横線「武蔵小杉駅」より「市営等々力グランド入口」または「市営等々力グランド前」下車
利用申込方法: 川崎市HPより所定の申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入、区役所道路公園センターまたは建設緑政局みどりの企画管理課へ持参もしくは郵送。
(2021年2月時点)

JECTO

施工ギャラリー

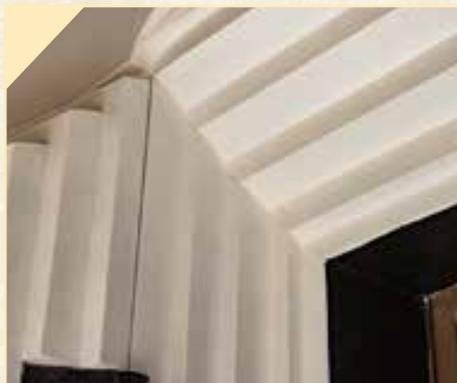
～蔵の再生プロジェクト～



Before

思いをつなぐ
技術をつなぐ

時代を経て出る
味わいを残したい。
先代を思う気持ちが
この蔵を甦よみがえらせました。



思いの実現に向け、
左官技術を駆使し
多くの苦労と
学びを得ました。

懐かしくも、新しい。
唯一無二の価値が
ここにあります。



After



軽量、かつ30秒で折り畳める、
今人気のCarryMeも販売

サイクルショップ ナカハラ

—身近な乗り物をより自分らしく楽しむ—

春の風を切って街中を走る「自転車ライフ」を始めてみませんか？

ご紹介するのは、こだわりの自転車や付属品を扱い、メンテナンスやカスタマイズまでを行う「サイクルショップ ナカハラ」さん。

店内にあるのは、機能性のある折り畳み自転車、おしゃれな子ども乗せ自転車、安全性の高い子ども用自転車など。店主白井さんは自身の様々な経験をもとに、お客様に合わせて「ほしい」機能が備わった自転車を販売しています。

メインの取り扱いはスポーツ専用自転車で、販売する際に利用者に対する確かなアドバイスができる「スポーツSBAA PLUS」の認定を受けています。中原区内(チェーン店以外)では唯一の認定店です。スポーツ用自転車は組立、修理、新商品への対応、使用法、交通ルールを含めた乗り方まで、販売者に一定の技量を要する面があります。「自転車は走るだけでなく、カスタマイズして楽しめる最高の大人の遊び道具」と話す白井さん。ルールを守り、長く愛用

してもらうためにも、コーティングやオーバーホール(部品の分解・調整)等のメンテナンス作業にも力が入ります。

白井さん自身、複数台愛車を持ち、休日にはグルメ旅や山を駆ける「自転車遊び」の様子をHPにアップ。Facebookやツイッター等SNSを用いたネット上での交流、さらにはイベントも主催し、自転車ライフの楽しさを伝えていきます。知れば知るほど自転車の魅力にハマるかも?!身近でよく使う乗り物だからこそ、用途や趣味から自分に合った1台を選びたいものですね。



HPはこちら▶
電話もしくはアプリからも来店予約が可能です!



ジェクトにおまかせ

セミオーダーテーブル

by 中原工房

中原工房は、自ら作りたいたいというお客様のためのDIY工房です。
ご希望によりフル・セミオーダーによるテーブル(デスク)制作も承ります。
今回は設計会社様から「事務所スペースを効率良く、フリーアドレスでの作業を可能にしたい」というご要望。
クリエイティブな仕事に合わせたこだわりのオーダーメイドにお応えしました。

semi-order made plan

天板

市販品にはない特注サイズ
耐久性のある化粧板の中央に配線用開口を作成

脚

テーブルサイズに合わせたアイアンフレーム
黒艶消し塗装仕上げ 高低調節できるアジャスター付き

制作期間

材料発注より約3週間
※内容により制作期間は変わります。



セミオーダーテーブルのご依頼はこちらまで

ジェクト株式会社 中原工房

TEL:044-755-4105

E-mail:koubou@jecto.co.jp

HPリニューアルしました!



たくさんクマさんが出迎えてくれるお店BearBear。

静かな住宅街の中に、突然現れるかわいい看板。
ここだけ別空間のような、テディベアに囲まれた
可愛いお店の雰囲気そのままの、
ふんわり柔らかくておいしいシフォンケーキとクッキーのお店です。

メインのシフォンケーキは毎日10種類以上。
クッキーやマドレーヌなどの焼き菓子も人気です。
月に一度限定の「シュークリームの日」も、
毎月楽しみにするファンがついています。

「おいしいものをおいしい状態で食べてほしい」と
語るのは店主の長谷川さん。
シュークリームやマドレーヌなどの焼き菓子にはカルピスバターを使い、
生クリームは北海道の根釧(こんせん)地区からお取り寄せ。
シフォンケーキにぴったりで、多くのお客様が購入するそうです。
持ち帰りには、柔らかなケーキがつぶれないように
専用の箱を用意するなど、包装にも工夫を凝らします。
事前の相談で、配達も受け付けています。
「仕事の帰りにお店まで誕生日ケーキを引き取りに来たら、
くたくたになっちゃう。
帰るころに配達したら、お母さんも楽でしょう」
お菓子を囲んで家族みんなが楽しく過ごせるように、
優しい心遣いに満ちたお店です。



2021年うし年の「牛フォン」大人気です。シフォンケーキはみんなふわふわ、なめらか。ホールごと食べたくなる軽やかさです。

月に一度、第二土曜日に数量限定販売のシュークリーム。カルピスバターを使用して焼いたシューに、こだわりのカスタードクリームが入っています。(予約可)



大きなクマのトピアリーが目印です。



シフォンケーキ&クッキーの店 BearBear

中原区下小田中3-12-6
TEL:044-751-4566
営業時間:11:00~18:00
定休日:月曜日
URL: <https://www.bearbearrei.com/home>
配達は別料金、詳しくは問い合わせを。



Facebook

3時の おやつ

中原街道の全体図



「旧中原村役場跡」は小杉十字路口から武蔵中原方面に進み、二ヶ領用水の神地橋を渡った左手にある。戦災で焼失したため、現在ではガイドパネルが立つのみになっている。

中原街道に行く

「中原」の由来

「中原街道」の名前の由来、知っていますか？

「中原」は、同じ神奈川県平塚市にある中原御殿からきているそうです。東京虎ノ門と中原御殿を結んでいたため、「中原街道」と呼ばれるようになりました。

では、なぜここ川崎に「中原」の名前がつくようになったのでしょうか。それは明治22年の市制町村制の施行時のことです。

それまでの上丸子、小杉、宮内、上小田中、下小田中、新城村が一つの村に合併することになり、各代表による入札の結果、「中原」に決まりました。もちろん村の中央を通る中原街道にちなんでの村名です。中原という名前はもとも地

名ではなく、中原街道からとられた、ということ。です。

大正14年には中原村と住吉村が合併し、中原町になりましたが、昭和8年川崎市に編入され、「中原」の名前はいったん消えてしまいました。しかしながら昭和47年、川崎市が政令指定都市になったときに「中原区」となって復活し、現在に至ります。

昭和47年から数えて来年でちょうど50年。中原区はまもなく区制50周年を迎えることになりました。もともとは別の地域で使われていた「中原」も、長い年月をかけて私たちに親しまれ、ここに根付いたことは間違いありません。また、それは中原街道がこの街の発展に貢献してきたことの裏付けともいえるでしょう。

編集後記

「都心から近く、通勤に便利な場所」——中原は、それだけではありません。

平日は快適なワーキングスペースでお仕事。休日は武蔵小杉の商業施設でお買い物。こだわりの品は、武蔵新城や元住吉の商店街へどうぞ。等々力緑地でリフレッシュをしましょうか。二ヶ領用水の桜も綺麗ですよ。

24時間365日楽しめる中原。あなたのお気に入りの場所を見つけて、充実した中原LIFEを過ごしてくださいね。

